



—東地中海・北アフリカ地域ニュース—

リビア：国民議会議長及び副議長の選出ほか (9～11日付リビア・ヘラルド報道)

### 1. 国民議会の初会合開催と議長選出

2012年8月8日、国民会議（7月9日選出）の初会合が開催され、ユースフ・マカリーフ「国民戦線」代表が同議会議長に選出された。同初会合の開催に伴い、国民暫定評議会が解散し、マカリーフ代表が事実上の国家元首に就任した。

議長選挙では、当初5人の候補に対する投票が行われ、アリー・ゼイダーン議員が80票、マカリーフ議員が56票を獲得した。スワイフリー「祖国のための連合」代表は、53票を獲得したが、決選投票に残ることができなかった。

決選投票では、ゼイダーン議員の85票に対し、マカリーフ議員が113票を獲得して議長に選出された。

### 2. 国民議会の副議長選出

8月10日、国民議会の会合が開催され、9日にマカリーフ「国民戦線」代表が議長に選出されたことに続き、(1) ミスラタ選挙区出身のジュマ・アテーガ議員（無所属）、(2) 南西部のワディ・エシャティ選挙区出身のサーレハ・エル・サーレハ議員（リビア・ムスリム同胞団系「公正建設党」）の2名が副議長に選ばれた。

副議長に立候補したのは、上記2名のほかに、(1) スレイマーン・ガジャム議員（無所属）、(2) エル・サヌーシー・エル・フーマ議員（1議席のみ有する小規模政党「ラキーザ」所属）がいる。第1回投票で、アテーガ議員が103票、エル・サーレハ議員が93票をそれぞれ獲得し、残る2名（ガジャム議員：37票、エル・フーマ議員：11票）に大差を付けて当選した。

### 3. ベンガジにおける国軍高官殺害事件の発生

ベンガジ軍管区で国軍装備の管理を担当するムハンマド・ハディーヤ・アル・フィトゥーリ国軍准将がモスクで礼拝して帰宅しようとしていたところ、待ち伏せしていた身元不明の武装集団から銃撃され、その後、死亡が確認された。同人は、旧カツザーフィー政権下で要職にあったが、昨年の内戦発生を受け、反体制派に参加していた。